

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 平成26年度定時総会議事録

日 時 平成25年6月14日（土）10時00分～11時50分
場 所 JOMビル 4F会議室
東京都中央区日本橋茅場町3-7-2

1. 定 足 数 の 確 認

出席会員13名、委任状25名、計38名。従ってヨットクラブを代表する正会員36名、学識経験者である正会員15名合計51名の正会員の過半数を超えて定款第32条（総会成立）の定足数に達しているため本総会の成立を確認しました。

2. 開 会 の 挨拶

石原伸晃会長は公務のため出席出来ず、秘書の皆さんも多忙とのことで代理出席も出来ないため、お詫びするとともに、熱心な討議で盛会を祈りますとの連絡がありました。

安井清副会長が、一般社団法人に移行して初年度の事業が終了した。新法人として真の意味での第一回目の定時総会なのでしっかりと審議して下さいと開会の挨拶をしました。

3. 来 賓 の 祝 辞

(1) (公財) B&G 財団

梶田功会長は関西出張のため出席出来ず、菅原悟志専務理事も沖縄出張と幹部が出られないので、海洋センター岡田聖一次長が代理出席され挨拶されました。

(公財)日本セーリング連盟の会員登録数が従来の3分の1になったり、日本OP協会の登録選手も3分の1になる等、ジュニアセーラーも減少しており、各団体がバラバラでなく一緒に活動してゆく必要がある。目的は健全な青少年の育成であるので今後はプログラムを持ち寄って、お手伝い出来ることは協力しあっていきたいと祝辞を頂きました。

(2) (公財)日本セーリング連盟

(公財)日本セーリング連盟の評議員会、理事会と日程が重複してしまったので、河野博文会長も鈴木修専務理事も出席できないので、皆様によりしくお伝えくださいとの連絡がありました。

4. 議 長 選 出

定款第30条により会長が議長となるため公務により欠席のため、定款第14条の2により、又予め会長が指名した順序に従い安井 清副会長が議長に選出されました。

安井副会長より、一般社団法人として認可を受けて発足した初めての事業年度の決算報告をする最初の定時総会ですので、従来の収支報告書と新法人での収支報告書の違いもあり理解しづらい

ですが皆様の理解を賜り、連盟の新しい活動にご協力をお願いしますとの挨拶がありました。

5. 議事録署名人選出

定款第34条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名を議長より推薦し、全会一致で承認、選出され、両氏も了承しました。

大平 邦夫氏（いわきジュニアヨットクラブ代表者）

小野澤 秀典氏（B&G高松海洋クラブ代表者）

6. 議案審議

（1）第一号議案 平成25年度事業報告書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成25年度事業報告書(案)の説明を行いました。

説明終了後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

（2）第二号議案 平成25年度財務諸表(案)承認の件（監査報告）

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成25年度財務諸表（案）について説明を行いました。

貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録、正味財産増減計算書総括表、収支計算書、一般会計、特別会計、収支計算書総括表、収支計算書に対する注記のそれぞれにつき説明しました。

続いて、平成25年度財務諸表（案）並びに当連盟理事の職務執行状況等について、茅野信行監事より下記の通り監査報告を行いました。

「私（茅野）が平成26年6月12日に監査を行いました。関係帳簿及び書類を監査した結果、公益法人会計基準に沿い、いずれも公正妥当なものと認められました。又、理事会にも出席しておりますが理事等役員の業務執行についても特別問題となる事はございませんでしたので併せて報告いたします。」（監査報告書添付）

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

議長は、以上により平成26年度定時総会の議案の審議は全て終了したと閉会を宣しました。

7. 報告事項

（1）ミキハウスカップ大阪2014での開催について

玉置理事より説明しました。

大阪北港ヨットハーバーの存続問題が発生し、開催が危ぶまれていましたが26年4月1日より民間のハーバーとして名称も「大阪北港マリーナ」に変更されて運営されています。従来は

レガッタの運営を中心となって行って頂いている「大阪北港ディンギークラブ」を通して大会開催の申し込みをハーバー管理会社にしておりましたが、民間のマリーナになりましたので当連盟から直接申し込みをした方が良いとの結論となり、大阪北港ディンギークラブとも打ち合わせながら至急対応する事にしました。

開催期日は9月20日（土）～21日（日）の予定です。

今年もクラブ対抗レースを企画して海外セーリング研修派遣の特別賞（関東水域OP連絡会が主催する「タイクリニック」研修もしくはシンガポール（予定）研修）を授与する予定です。

- (2) 8月第1週の連盟の夏のイベント大会企画（ジュニアヨットクラブジャンボリー）について中川常務理事より説明しました。

7月31日（木）～8月3日（日）、昨年同様静岡県浜名湖の三ヶ日青年の家の宿泊施設を予約して、各クラブ合同の合宿形式で、可能な限りチャーター艇を用意して、初心者でも楽しめるイベントを計画します。昨年好評でしたので1泊増やして3泊4日に致しました。

8. 閉会の挨拶

司会進行の熊川事務局長より総会での報告事項の終了が案内されました。

最後に、安井 清副会長から閉会の挨拶があり、散会しました。

安井副会長 挨拶

皆様のご協力で無事に平成26年度定時総会が終了出来ましたことお礼申し上げます。

（11時50分に終了する。）

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成26年6月14日

議長（住所・氏名自署）

安井 清（印）

議事録署名人（住所・氏名自署）

大平邦夫（印）

（いわきジュニアヨットクラブ代表者）

議事録署名人（住所・氏名自署）

小野澤秀典（印）

（B&G高松海洋クラブ代表者）